

国立病院機構 相模原病院
-令和4年度中心拠点病院事業総括-

独立行政法人 国立病院機構 相模原病院
臨床研究センター長 海老澤 元宏

アレルギー中心拠点病院の事務局としての活動

● アレルギー疾患医療全国拠点病院連絡会議の開催

拠点病院との情報共有、意見交換を行い医療の均てん化を図り、広域的な研究体制を整備構築する。

● A・B・C研修の実施

全国拠点病院の医療従事者への育成を行い、アレルギー疾患に関する医療の質の向上を行う。

● オンライン医療相談の実施

診断が困難な症例や難治性アレルギー患者の診療に対する相談やサポートを行い、全国拠点病院との連携協力体制を構築する。

● 一般の方に向けたアレルギー医療相談の実施

アレルギー疾患患者とその家族の悩みや不安に的確に対応することにより、その生活の一層の支援を図ることを目的とする。

A研修：相模原臨床アレルギーセミナー

【設立経緯】

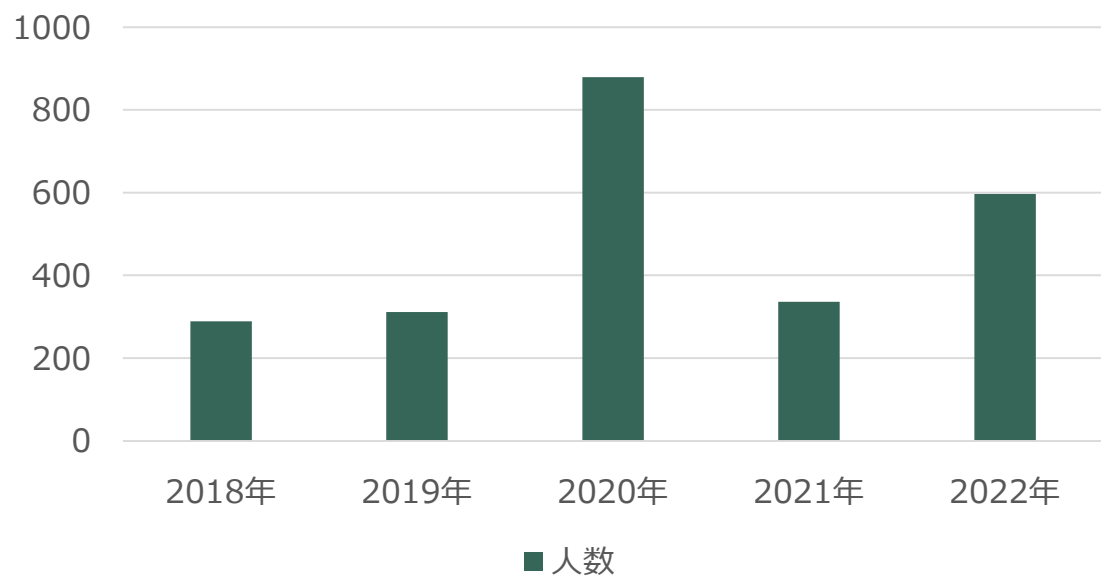
日本アレルギー学会WGの討議において、講習会形式での研修を相模原病院が担当となる。

【拠点病院の人材育成プラン】

国のアレルギー疾患対策基本法が制定され、厚労省と中心拠点病院（成育医療研究センターと国立病院機構相模原病院）が中心となり拠点病院の人材育成に関して検討。

当セミナーを第一段階の研修 = A研修に位置づけた。

アレルギーセミナー参加人数



○毎年300人前後が参加する国内最大のアレルギーセミナー

○2020年度 参加者 879名
2021年度 参加者 336名
2022年度 参加者 597名。

○2023年度もオンラインにて開催
【WEB配信期間】2023年8月1日(火)～8月31日(木)
【受付期間】 2023年2月7日(火)10時～7月14日(金)

B研修：2週間の総合アレルギー研修

【2022年度 応募・実施状況】

○研修実施数 5名（2023年1月現在）コロナ禍ではあるが研修希望される方が徐々に増え、コロナ禍前の状況に戻りつつある。

【研修 講義・実習内容】

1週目						2週目					
	月 1月24日	火 1月25日	水 1月26日	木 1月27日	金 1月28日		月 1月31日	火 2月1日	水 2月2日	木 2月3日	金 2月4日
AM	9:00～ 施設案内 (事務担当者) 10:00～ 共通 耳鼻科外来見学	共通 小児アレルギー初診 外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 成人食物アレル ギー外来見学	共通 皮膚科外来見学	共通 皮膚科外来見学	AM	共通 耳鼻科外来見学	共通 小児アレルギー初診外 来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 成人食物アレル ギー外来見学	共通 食物経口負荷試験 栄養食事指導	共通 小児アレルギー 初診外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎
	経口免疫療法、皮下免疫療法（実施期間中のみ）						経口免疫療法、皮下免疫療法（実施期間中のみ）				
PM	小児 講義： アレルギー疾患総論	共通 実習： アレルゲンエキス作 製 ※講義	小児 呼吸機能検査 小児アレルギー 外来見学 ・気管支喘息 ・アレルギー 性鼻炎 ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー 外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 アレルギー初診 カンファレンス ※エビベン指導	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー 外来見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 ※講義	PM	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来 見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎	共通 実習： 皮膚ブリックテスト ※講義	小児 呼吸機能検査 小児アレルギー 外来見学 ・気管支喘息 ・アレルギー性 鼻炎 ※講義	小児 食物経口負荷試験 小児アレルギー外来 見学 ・アトピー性皮膚炎 ・食物アレルギー ・気管支喘息 ・アレルギー性鼻炎 アレルギー初診カン ファレンス ※エビベン指導	小児 総括 修了証明書授与（事 務担当者）
	成人 講義：アレルギー疾患総 論		成人 講義：免疫学	成人 講義：アレルギー疾患 総論	成人 講義：アレルゲン免疫 療法		成人 実習+講義：アスピ リン喘息とアスピリ ン負荷試験		成人 講義：肺機能、画 像、過敏性など	成人 講義：吸入性抗原	成人 総括 修了証明書授与（事 務担当者）

C/D研修：成人アレルギー

● 処遇および業務

- ・ アレルギー・呼吸器内科レジデントとしての病棟および外来業務
- ・ 臨床研究センター非常勤研究員（併任）としての臨床研究業務
- ・ 長期研修であれば、当院勤務しながら学位取得も可能

順天堂大学連携大学院 制度利用（5年以上在職できる場合・入学試験あり）

● 過去の実績（C, D研修あわせた年度別新規研修者数）

2017年度	4人	2020年度	2人
2018年度	1人	2021年度	8人
2019年度	1人		

● 今後の募集案内

- ・ C, D研修ともに、次年度4月より最低1年間（**前年度8月末までに要連絡**）
- ・ C, D研修は1年以内の短期研修は不可、長期研修は応相談

※応募者多数の場合は、さらに次年度に繰り越す場合あり

C/D研修：小児アレルギー（年平均3-6名）

対象：卒後5年目以降の小児科医師

募集人数：各年度4-5名程度(先着順・地方拠点病院を優先)（前年度8月末までに要連絡）

実施期間・開始時期：1-3年間、4月(10月開始は要相談)

待遇：レジデント、宿舎・保育所有、当直月2回、希望者外勤有

●研修の特徴

- 小児アレルギー疾患の最新の治療・臨床研究知識の習得
- 研修者全員に学会発表(国内・海外)、論文投稿の基礎徹底指導
- 熱心な指導医と充実した研修・教育システム・卒後フォローアップ
- 研修しながら最短3年で学位習得可能（順天堂大学連携大学院）



●レジデント1人当たり年間平均研修実績

- アトピー性皮膚炎のスキンケア・軟膏療法(入院10件担当)
- 食物経口負荷試験(300件以上担当)・経口免疫療法(12件担当)
- アレルギー疾患の診断・管理法(初診・再診200件担当)
- アレルゲン免疫療法(注射4-8件、舌下10-20件担当)
- 各種検査（皮膚テスト100件以上・呼吸機能検査100件以上）
- 重症気管支喘息の入院対応と長期管理(10-20件)

オンライン研修：利用方法



オンライン研修として、相模原病院医師による講義・手技をアレルギー中心拠点病院ホームページより配信

オンライン研修視聴方法

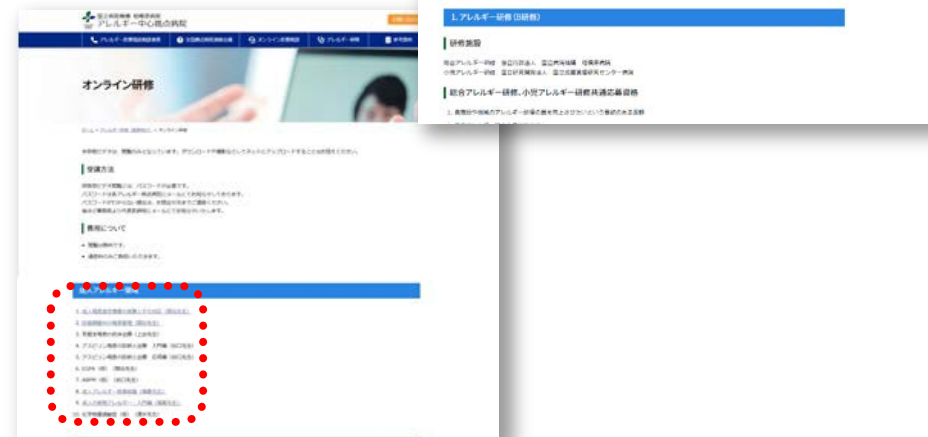
① こちらをクリック



② 「はい」をクリック



③ 「2.オンライン研修」をクリック



「相模原病院ホームページ」→「アレルギー中心拠点病院としての活動」からホームページに入れます。

海外研修生の受け入れ

	タイ	台湾	中国	イラン	トルコ
2012年度	2				
2013年度	3				
2014年度	2	1	1		
2015年度					
2016年度	2				
2017年度	5			2	
2018年度	2				
2019年度	6				
2020年度					
2021年度					
2022年度	9	1			2
2023年度			2		
小計	31	2	3	2	2
総計	40				

	期間	人数	国籍
2022年			
7月19日-9月30日	11週間	1名	トルコ
8月4日-滞在中	1年間	1名	タイ
8月8日-9月22日	7週間	1名	トルコ
10月22日-28日	2週間	2名	タイ
2023年			
1月16日-2月3日	3週間	2名	タイ
2月6日-17日	2週間	2名	タイ
2月20日-3月3日	2週間	2名	タイ
3月7日-17日	2週間	1名	台湾
	合計	12名	

オンライン医療相談 (D to D)

<アレルギー拠点病院>



拠点病院のご所属の
先生方

- ✓ 症例に関するご相談
個々の症例の治療方針？
診断方法？
- ✓ 検査・診療体制の構築
に関するご相談



アドバイス

- ◇オンライン (web会議形式)
- ◇無料
- ◇何度でも可

2022年度 対応実績 1件

<相模原病院>



相模原病院の
小児科・内科医師

中心拠点-地方拠点 様々な事業連携

【宮崎県における取り組み】

・アレルギー専門外来のサポート

- 月1回 中心拠点からアレルギー学会指導医・専門医の派遣

・アレルギー疾患に関連する調査事業のサポート

- 学校管理指導表を用いた食物アレルギーの実態調査
- 食物経口負荷試験の実施状況調査

・人材育成・地域連携のサポート

- 南九州地区オンライン講演会（2022年4月開催予定）
- 若手医師を対象とした小児アレルギースキルアップセミナー（2022年5月開催予定）

若手医師を対象とした小児アレルギースキルアップセミナー

【開催概要】

スタッフ	コーディネーター（3名）、チューター（9名）
目的	食物アレルギーを正しく診断するスキルを学ぶ
対象	アレルギーに興味のある若手の医師
内容	シナリオを用いたグループディスカッション、ハンズオン (スキンケア・皮膚プリックテスト・エピペン使用)

アレルギー医療電話相談

【実施内容】

- ・受付日時]毎週火・水曜日（祝日・年末年始は除く）10：00～12：00／13：00～15：00
- ・電話対応者：小児アレルギーエドゥケーターおよび経験豊富な看護師が対応。

【年間実績（2022.1～12）】



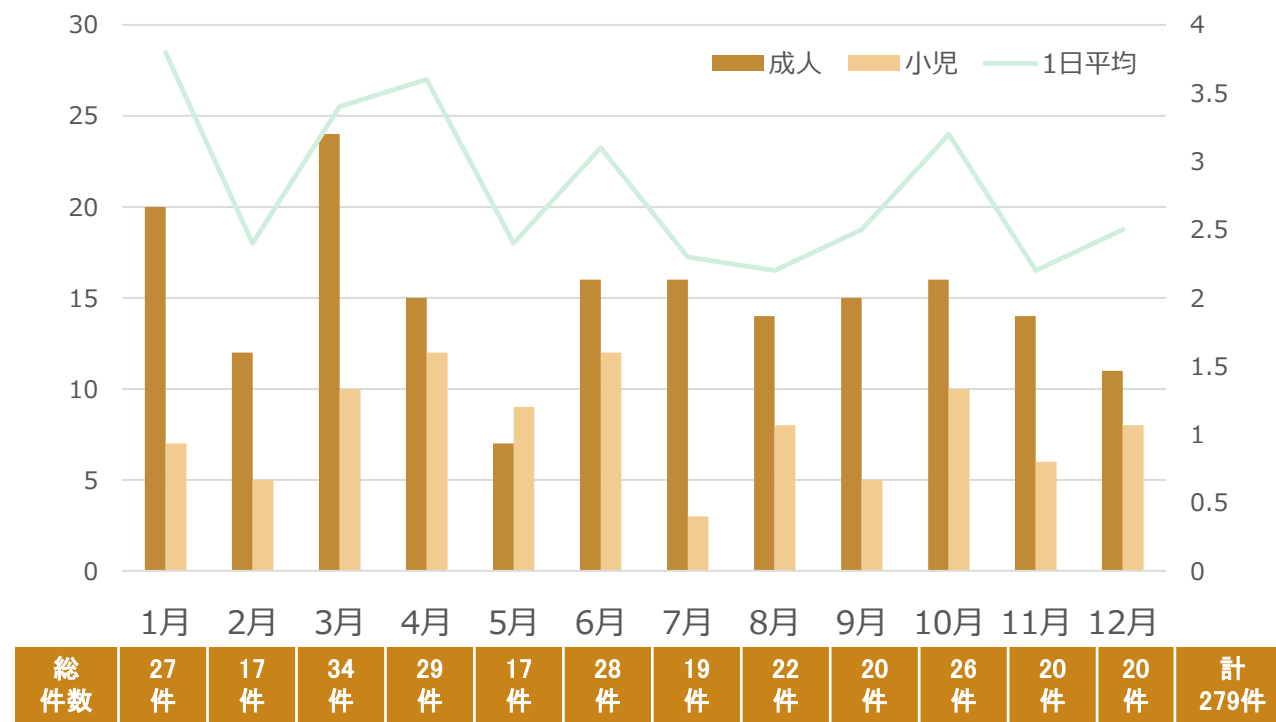
年間相談件数

■成人／180件 ■小児／95件
■不明／4件 ■総件数／455件



年間相談日数 **99日**

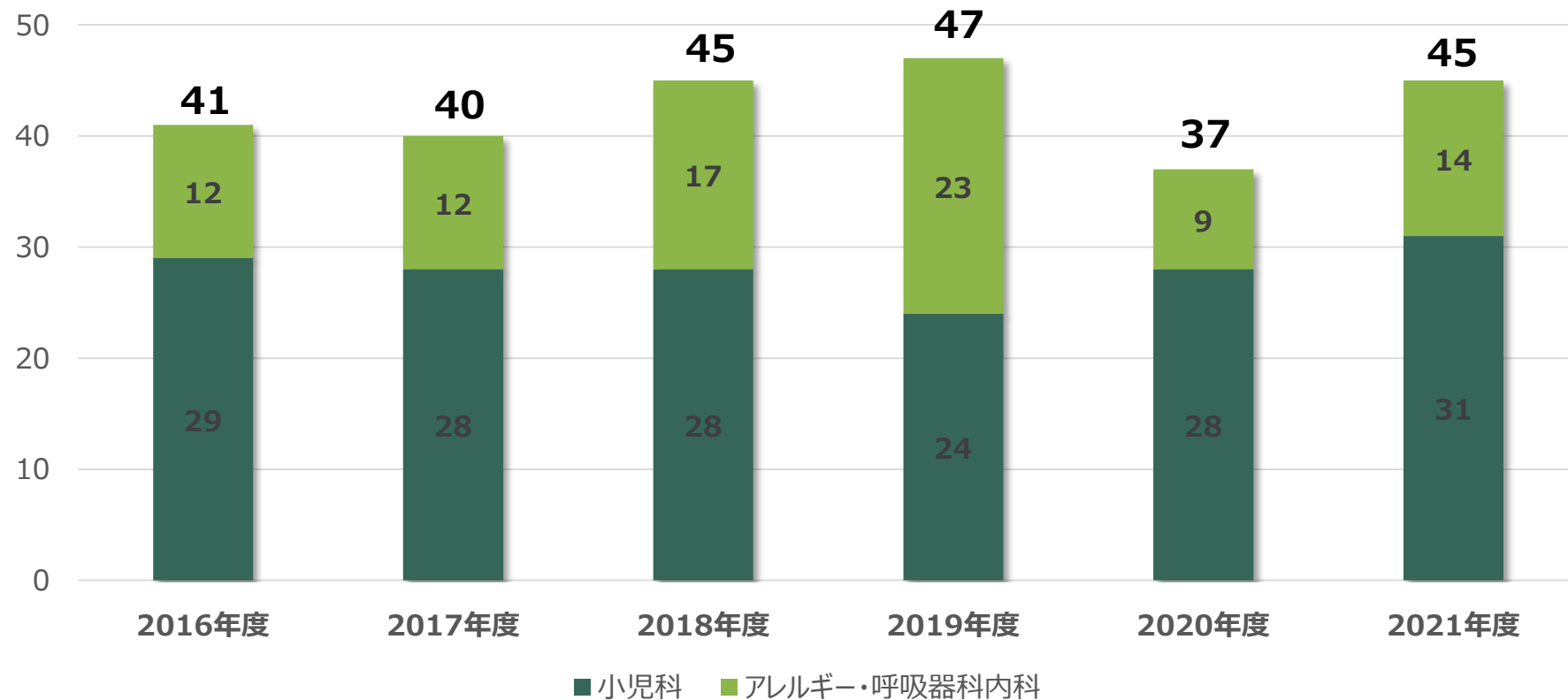
1日平均相談件数 **2.8件**



研究実績

相模原病院 アレルギー関連 英文論文 掲載数 (2016~2021年度)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
小児科	29	28	28	24	28	31
アレルギー・呼吸器内科	12	12	17	23	9	14



食物アレルギー研究会

食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

ホームページ 研究会について 開催案内 負荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料

入会のご案内

食物アレルギーの診療の手引き Q & A

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

食物アレルギーの診療の手引き2020

食物経口負荷試験の手引き2020

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2017

お知らせ

2022年3月7日 第22回食物アレルギー研究会 終了の御礼

2022年2月4日 第22回食物アレルギー研究会を開始しました

2021年12月15日 第22回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました

2021年10月19日 2021年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のお知らせ

2021年10月8日 乳幼児用のミックス離乳食 (Spoonfulone スプーンフルワン®)に関する注意喚起

開催案内

第22回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2022年2月4日-3月6日)

第21回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2021年2月25日-3月16日)

第20回食物アレルギー研究会 (2020年2月9日開催)

第19回食物アレルギー研究会 (2019年2月17日開催)

第18回食物アレルギー研究会 (2018年2月18日開催)

【主な掲載コンテンツ】

- 食物経口負荷試験実施施設一覧
- 食物アレルギーの診療の手引き
- 食物経口負荷試験の手引き
- 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き

etc.

<https://www.foodallergy.jp/>

食物アレルギー研究会：食物経口負荷試験実施施設一覧

<https://www.foodallergy.jp/ofc/>

食物アレルギー研究会
[トップページ](#) [お問い合わせ](#) [利用について](#) [開催案内](#) [負荷試験実施施設](#) [リンク](#)

食物経口負荷試験 実施施設一覧

【食物経口負荷試験をご希望される患者さんへ】
 このサイトに掲載されている医療機関は、日本小児科学会専門医研修プログラム 基幹施設・連携施設の小児科を対象として行った調査に回答があり、掲載の許可があった施設です。
 負荷試験を行っている施設は掲載の施設以外にも多数あります。

「外来負荷」「入院負荷」は2020年度（令和2年度）の外来または入院での食物経口負荷試験の実施症例数を示します。

※現在、コロナウイルス対応の影響で負荷試験を中止している医療機関が多数あります。試験希望の場合は必ず各施設へお問い合わせください。

エリア一覧

北海道
 東北地方
 関東
 中部地方
 近畿
 中国
 四国
 九州

北海道エリア 東北エリア 関東エリア 中部エリア 近畿エリア 中国エリア 四国エリア 九州沖縄エリア

入会のご案内
 食物アレルギーの診療の手引き Q & A
 食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

アレルギーの診療の手引き2020
 Web版 [PDF/5MB]

食物経口負荷試験の手引き2020
 Web版 [PDF/2MB]

関東エリア

トップページ > 食物経口負荷試験 実施施設一覧 > 関東エリア

1,000件以上	501~1,000件	201~500件	101~200件	51~100件	1~50件	実施なし
★★★★	☆☆☆	☆☆	☆	◎	○	—

症例数：2020年度（令和2年度）実績

施設名	外来負荷	入院負荷
茨城県		
茨城県立こども病院 小児アレルギー科	☆☆	○
東京医科大学茨城医療センター 小児科	—	○
JAとりで総合医療センター 小児科	○	○
筑波メディカルセンター病院 小児科	○	☆☆
茨城西南医療センター病院 小児科	—	○
日立総合病院 小児科	—	○
常陸大宮済生会病院 小児科	—	○
栃木県		
獨協医科大学病院 小児科	☆☆	☆☆☆
自治医科大学附属病院 小児科	○	○
国際医療福祉大学病院 小児科	—	○
国立病院機構栃木医療センター 小児科	☆☆	☆
五箇赤十字病院 小児科	—	☆
新小山市民病院 小児科	—	◎
足利赤十字病院 小児科	○	☆
佐野厚生総合病院 小児科	○	○
群馬県		
群馬大学医学部附属病院 小児科	○	○

食物アレルギー研究会：資料

食物アレルギー研究会
JAPANESE SOCIETY OF FOOD ALLERGY

ホームページ 研究会について 開催案内 負荷試験実施施設 リンク お問い合わせ

資料
入会のご案内
食物アレルギーの診療の手引き Q & A
食物アレルギーの栄養食事指導の手引き Q & A

食物経口負荷試験実施施設

食物アレルギーの診療の手引き 2020
Web版 [PDF/9MB]

食物経口負荷試験の手引き 2020
Web版 [PDF/10MB]

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き 2017
Web版 [PDF/2MB]

お知らせ

- 2022年3月7日 第22回食物アレルギー研究会 終了のお知らせ
- 2022年2月4日 第22回食物アレルギー研究会を開始しました
- 2021年12月15日 第22回食物アレルギー研究会 参加登録を開始しました
- 2021年10月19日 2021年度 田沼グリーンハウス財団 研究助成 公募のお知らせ
- 2021年10月8日 乳幼児用のミックス離乳食 (Spoonfulone スプーンフルワン®)に関する注意喚起

開催案内

- 第22回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2022年2月4日-3月6日)
- 第21回食物アレルギー研究会 (WEB開催: 2021年2月25日-3月16日)
- 第20回食物アレルギー研究会 (2020年2月9日開催)
- 第19回食物アレルギー研究会 (2019年2月17日開催)
- 第18回食物アレルギー研究会 (2018年2月18日開催)

<https://www.foodallergy.jp/document/>

資料

ホームページ > 資料

食物アレルギーの診療の手引き2020

日本医療研究開発機構研究事業
「重症食物アレルギー患者の管理および治療の安全性向上に関する研究」
研究開発代表者: 海老澤 元宏
小児から成人までの食物アレルギーの診断・治療のレベルの向上と、食物アレルギー患者の生活の質の改善を図るために一般医向けに作成された手引きです。食物アレルギーの診断・治療の基本について述べています。
2017年版の改訂版として発行されました。

Web版 [PDF/9MB]

食物経口負荷試験の手引き2020

厚生労働科学研究事業
「食物経口負荷試験の標準的施行方法の確立」
研究代表者: 海老澤 元宏
即時型食物アレルギーの診断・管理のレベル向上および食物経口負荷試験の普及を図るために一般医向けに作成された手引きです。
食物経口負荷試験の標準的な実施方法について述べています。

Web版 [PDF/10MB]

食物アレルギーの栄養食事指導の手引き2017

厚生労働科学研究事業
「食物アレルギーに対する栄養・食事指導法の確立に関する研究」
研究代表者: 海老澤 元宏
食物アレルギー患者に対する栄養食事指導の役割は大きく、不可欠です。
この手引きは主に管理栄養士の食物アレルギーの栄養指導レベルの向上を目標に作成されていますが、患者の生活に携わる全ての関係者の参考になる手引きです。
2011年版「食物アレルギーの栄養指導の手引き」の改訂版として発行されました。

Web版 [PDF/2MB]